



可怕的血絲病

可怕的血絲病，一般以爲在澎湖島上流行。其實位於亞熱帶的臺灣，由於四季溫暖與民衆衛生知識較低，對防蚊設備不其講究，是極普遍。血絲病，是一種以蚊爲媒介的傳染病，每當蚊子吮吸了患者的血液後，血液中的絲蟲、幼蟲、即隨之進入蚊體，這種蚊子再去咬人，就會將這病傳染給別人了！

凡不幸而患有血絲病的人，其初期症狀是並不顯著，且也有終生不具症狀的，即使有早期症狀出現，也多在五、六年之後，所以，凡是醫生檢查或診斷血絲病患者，恒以血液中的幼蟲爲準。患者有急性發熱、俗稱「絲蟲熱」，接着更有淋巴腺腫大、副睪炎、陰囊水腫及乳糜尿、血尿等現象；其特徵是：患部先是紅腫熱痛，數日後漸告消失，經過相當時間，又反覆發作，數年後，患部就形成象皮腫，所以又稱爲「象皮病」，因其皮膚一如象皮之厚而堅韌。

最容易發生象皮腫的地方

潰瘍。久而久之，患者終於成爲形癱肢殘，行動不便，生產力消失而變成廢人。

血絲病爲害人體的健康既如此的可怕，那末應如何治療或預防呢？

關於治療在過去始終沒有有效方法治療，如用錐或鋼製的減少，外科手術將象皮腫部分切除或是緊縛之，促進側肢淋巴腺循環，減輕象皮腫但仍可以復發，雖目前有醫治的藥，但價格昂貴，使人覺得遺憾。

至於預防，最好的辦法是注意殺蚊，消滅病源。例如：①注意環境衛生，勿隨地傾棄污水；②疏濬地下水道及溝渠；③剷除溪邊水草；④清除環境內雜物及積水等，不使蚊子滋生。其次是：穿著長袖，並遮蓋身體暴露部份，夜晚睡眠尤須懸掛蚊帳，更忌夏夜戶外露宿，而居室宜多開窗戶，使空氣流通。光線充足。鄉間的居民，如能做到上述各點，相信這可怕的血絲病，總不難使之絕跡。

經濟的電燈的使用法

家庭の電氣設備で困られる事は、最近の電氣用品が粗悪で、電球、ソケットなど二三カ月毎に新しいものと交換しなければならぬ事です。これは電氣用品が不良な關係もありますが、電氣の使用法が下手なためである場合も多くあります。次に節電の目的で、電氣用品と、その正しい使用法について述べてみましょう。

電球：節電をするには、まず良い電球を選ぶ事が大切です。不良な電球は、すぐに毀れるだけでなく、電力の消耗が良質製品より一・二割も多いので、少しぐらい高價でも優良製品を買った方が得です。優良製品と云ふのは、ガス入電球とか、二重コイル繊維電球ですが、これは素人に解りませんから、信用のある製品を選ぶ事が大切です。電球の明るさは、高燭ほど能率が良く、二〇ワット二個よりも四〇ワット一個の方が明るくて經濟的です。また、タミ一枚に對する電燈の明るさは一〇ワットが標準とされていきますから、六畳の部屋では六〇ワットが適當な明るさとなります。然し、幾ら電燈が明るくても、天井の高い所に吊しておいては、明るさが半減しますから、なるべく低く吊した方が少いワット數で最大の効果を發揮できます。

笠：電燈の笠は、光を反射して、明るさを増すので、ぜひ必要なのです。笠の有無によつて明るさに一倍半の差があると云はれていますが、一〇〇ワットの電球でも、笠の無い場合には、笠をつけただけで四〇ワット電球の明るさしかありません。また、笠や電球は、半年以上も掃除しないと、蟲の糞やゴミが附着して、反射が悪くなり、明るさが一割位低下しますから、ときどき乾布で拭きとるか、石鹼水で洗ふ必要があります。

電燈の消し方：電燈を消す

高い營養と美味
ジャム

（圖を参照）。火から下す時に、生薑（ショウガ）の汁を少し入れて、ニンジンの臭みを消します。

このジャムはパンにつけて食べると、美味で、營養の點からも理想的です。なほ、ジャムは直ぐに食べてもよく、罐か瓶に入れて長く保存する事もできます。

す時には、球から消さないで、スイッチで消すようにします。球から消すと、そのたびにソケット内部に火花が發して、電球やソケットを損害するからです。

最後に、安全と節電のために大切な事は、屋外の配電線に注意する事です。農家では、よく圖のように、樹木が外線に觸れてゐるのを見ます。これは雨天の時など電が流漏洩し、特に、枝の生育が急速な時には、斷線させたり電線が相互に接觸して、非常に危険ですから、邪魔になる樹枝を直ちに切り取るべきです。